

全集・叢書名	巻名・書名	編者・校訂者	発行所	備考
演劇叢書	第七篇 仮名手本忠臣蔵 付録 いろは評林	高野辰之・南茂樹／校訂	六合館	明治45年3月 ※大序 鶴ヶ岡の段・二段目 建長寺の場・三段目 殿中の場・四段目 扇ヶ谷の場・五段目 ニツ玉の場・六段目 山崎の場・七段目 一力の場・九段目 山科の場・十段目 天川屋見世の場・十一段目 義士討入の場・大切 両国押戻の場 ※解題を付す。 ※「道行旅路の花髻」「道行旅路の嫁入」の詞章、「いろは評林」を付録。
院本正本日本戯曲名作大系	第二巻 仮名手本忠臣蔵	三島才二／校訂・編纂	聚芳閣	大正14年8月 ※大序 鶴ヶ岡八幡の場・三段目 の切戸塚山中の場道行旅路の花髻・第四段目 扇ヶ谷屋形の場・第五段目 山崎街道の場・第六段目 早野勘平住家の場・第七段目 祇園一力の場・九段目 山科閑居の場・第十段目 天川屋之場（ママ） ※解説（三島才二）を付す。 ※院本も併載。
日本戯曲全集	第十五巻 赤穂義士劇集 仮名手本忠臣蔵	渥美清太郎／編纂 渥美清太郎・鈴木侃／校訂	春陽堂	昭和3年11月 ※大序 鶴ヶ岡八幡宮の場・二段目 桃井館の場・三段目 足利城外の場・同殿中の場・三段目 裏戸塚道行の場・四段目 扇ヶ谷塩冶館の場・四段目 裏鳥本宿鉢の巢の場・五段目 山崎海道（ママ）の場・六段目 与一兵衛内の場・七段目 祇園一力の場・八段目 道行の場・九段目 山科閑居の場・十段目 天川屋の場・十一段目 討入の場・大詰 両国橋押戻しの場 ※解説（渥美清太郎）を付す。 ※「太平記忠臣講釈」「菊宴月白浪」「忠孝両国織」「いろは仮名四十七訓」「義臣伝説切講釈」「絵本忠臣蔵」併載。
歌舞伎名作選	第一巻 仮名手本忠臣蔵	戸板康二／編纂解説 山本二郎・郡司正勝／本文校訂	創元社	昭和28年9月 ※大序 鶴ヶ岡八幡宮の場・二段目 桃井館の場・三段目 足利館門前進物の場・同殿中松の間の場・三段目 返し戸塚山中の場・四段目 扇ヶ谷塩冶館切腹の場・同表門の場・五段目 山崎街道鉄砲渡しの場・同二つ玉の場・六段目 与市兵衛内勘平腹切の場・七段目 祇園町一力の場・八段目 道行旅路の嫁入・九段目 山科閑居の場・十段目 天川屋の場・十一段目 高家討入の場 ※解説（戸板康二）を付す。 ※昭和31年改訂。
歌舞伎名作選	第二巻 仮名手本忠臣蔵	藤野義雄／校訂	硯学書房	昭和29年4月 ※山崎街道の場・与一兵衛内の場・祇園一力の場 ※解説・梗概（藤野義雄）を付す。
名作歌舞伎全集	第二巻 丸本時代物集 一 仮名手本忠臣蔵	戸板康二／編 山本二郎／校訂	東京創元新社	昭和43年9月 ※大序 鶴ヶ岡八幡宮の場・二段目 桃井館の場・三段目 足利館門前進物の場・同殿中松の間の場・同裏門の場・四段目 扇ヶ谷塩冶館切腹の場・同表門の場・五段目 山崎街道鉄砲渡しの場・同二つ玉の場・六段目 与市兵衛内勘平腹切の場・七段目 祇園町一力の場・八段目 道行旅路の嫁入・九段目 山科閑居の場・十段目 天川屋の場・十一段目 高家表門討入の場・同奥庭泉水の場・同炭部屋本懐の場 ※解説（戸板康二）を付す。 ※「戸塚山中の場（道行旅路の花髻）」を付録。

全集・叢書名	巻名・書名	編者・校訂者	発行所	備考
全集・叢書名 忠臣蔵	巻名・書名 第四巻	編者・校訂者 赤穂市総務部市史編さん室／編	発行所 兵庫県赤穂市	備考 平成2年3月 ※大序 鶴ヶ岡八幡宮の場・二段目 桃井館上使の場・桃井館松切の場・三段目 足利城外の場・足利館殿中松の間の場・足利館裏門の場・四段目 扇ヶ谷塩冶館の場・扇ヶ谷塩冶館表門の場・五段目 山崎街道鉄砲渡しの場・山崎街道二ツ玉の場・六段目 与市兵衛内勘平切腹の場・七段目 祇園町一力の場・八段目 道行旅路の嫁入・九段目 山科閑居の場・十段目 天川屋見世の場・十一段目 高家表門討入の場・高家広間の場・高家奥庭泉水の場・高家炭部屋本懐の場・両国橋引揚げの場 ※「二段目 建長寺書院の場」「浄瑠璃 道行旅路の花髻」「十段目 天川屋義平内の場」「十一段目 高家庭内討入りの場・高家柴部屋焼香の場・高家裏門引揚げの場」を併載。
歌舞伎オン・ステージ	八 仮名手本忠臣蔵	服部幸雄／編著 郡司正勝・廣末保・ 服部幸雄・小池章太郎・諏訪春雄／監修	白水社	備考 平成6年3月 ※大序 鶴ヶ岡社前の場・二段目 桃井館の場（桃井館上使の場・桃井館松切りの場）・三段目 足利館門前進物の場・同殿中松の廊下の場・同裏門の場・四段目 扇ヶ谷館の場・同表門の場・五段目 山崎街道の場・六段目 早野勘平住家の場・七段目 祇園一力の場・八段目 道行旅路の嫁入・九段目 山科閑居の場・十段目 天川屋見世の場・十一段目 師直屋敷討入りの場 ※梗概、解説、脚注、「二段目 建長寺の場」「戸塚山中道行の場（道行旅路の花髻）」「十一段目 義士討入りの場」の台本、五段目注補遺を付す。 ※芸談（竹柴蟹助、《8》沢村宗十郎、《7》沢村宗十郎、《6》尾上梅幸、《1》中村鴈治郎、《2》中村梅玉、《1》沢村宗之助、《13》片岡仁左衛門、《5》尾上菊五郎、《3》中村歌六、《1》中村吉右衛門、《5》中村歌右衛門、《7》坂東三津五郎、《3》市川新十郎、《7》松本幸四郎、《6》尾上菊五郎、《3》藤浪与兵衛、《15》市村羽左衛門、《8》市川団蔵、《7》市川中車、《2》市川左団次）、鳴物付帳（望月太意之助）を付す。
開場40周年記念 国立劇場 歌舞伎公演記録集 10	通し狂言 仮名手本忠臣蔵 上巻 五幕七場	独立行政法人日本芸術文化振興会国立劇場／監修	ぴあ株式会社	備考 平成18年4月 ※大序 鶴ヶ岡八幡宮社頭の場・二段目 建長寺書院の場・三段目 足利城外の場・足利殿中松の間の場・四段目 扇ヶ谷塩冶館の場・同表門の場・浄瑠璃道行旅路の花髻 ※昭和61年10月国立劇場所演。 ※公演情報・配役一覧・解説・あらすじ・開演の前に・主な登場人物紹介・台本・邦楽連名・随談抄・ト書辞典を付す。
開場40周年記念 国立劇場歌舞伎公演記録集	5 通し狂言 義経千本桜 下の巻	日本芸術文化振興会国立劇場／監修	ぴあ株式会社	備考 平成17年12月 北嵯峨庵室・下市村椎の木・同竹藪小金吾討死・同釣瓶鮎屋・河連法眼館・同奥庭 ※昭和51年11月国立劇場所演。 錦絵・公演情報・配役一覧・解説・あらすじ・主な登場人物紹介・台本・邦楽連名・随談抄・ト書辞典を付す。